

自転車チェック表

蒲郡オレンジ大会では検車を行いません。以下にレギュレーションと一般整備をあげました。セルフチェックをし各自で責任を持って安全な状態の自転車でレースに臨んでください。(セルフチェックは安全を約束するものではありません。各自で責任を持って点検してください)

JTUレギュレーション(2006年発行のJTUルールブックより抜粋)

1. ドロップハンドルを基本とする。ブルホーン形ハンドルは許可。T型バーの使用はスタンダードは不可。	
2. ドロップハンドルは3ポジション(上部、下部、ブレーキブラケット)が持てること。	
3. ハンドルバーはバーテープを巻き、そのバーエンドはしっかりとふさぐこと。	
4. エアロバーは許可。(先端はしっかりとふさぐ。ギアシフトレバー装着は許可)	
5. 使用禁止備品(泥避け・スタンド・車輪カバー・チェーンカバー・ランプ)	
6. タイヤはしっかりと装着する。チューブラタイヤはしっかりとリムセメントなどで接着する。	

一般整備チェック項目

1. ハンドル廻りのガタ(ヘッドパーツ、ステム、ハンドルバー、DHバー、ブレーキブラケットのネジのゆるみ)	
2. サドルのゆるみ(シートポストとサドルのネジのゆるみ)	
3. ブレーキの効き具合	
4. 車輪のゆるみ、ハブのガタ	
5. 車輪の振れ(競技に支障のない範囲であるか)	

ヘルメットのチェック項目

1. 下記の基準のいずれかに適合したバイクヘルメットを着用のこと。(ハードシェル) 日本自転車競技連盟(JCF)、米国規格協会(ANSI Z-90.4)、スネル記念財団(snell)、スウェーデン消費者機構、その他JTUが認めるもの。(中学の部でロードレーサーを使用しない場合は競技用でなくてもストラップが伸縮しない硬質ヘルメットは許可)	
2. 改造	
(1) いかなる改造もしてはいけない。	
(2) 飾りなどの付属品を付けてはいけない。但し、バイザー等の正当なものは許可。	
(3) ストラップベルトの改造(伸縮性素材など)はいけない。	
3. 割れ	
外装、および内部にひび割れがないこと。	
4. 適合サイズとストラップベルトの長さ調整	
(1) 頭にフィットしているか。	
(2) ストラップベルトの長さは適当か。	
(目安)しっかりとかぶり、アゴを突き出した状態でベルトがアゴから外れないこと。	